

**製品名: LPA マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80703**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | マウスモノクローナル抗体                                     |
| 宿主     | ねずみ  |
| 応用     | IHC, ELISA                                       |
| 反応性    | 人間   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | Mouse IgG1                                       |
| クローン性  | モノクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 1mg/ml   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。                  |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |  |
|------|--|
| 希釈倍率 | IHC 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量  | /                                      |

**抗原情報**

|              |                                       |
|--------------|---------------------------------------|
| 遺伝子名         | LPA                                   |
| 別名           | LP; AK38; APOA; LPA                   |
| 遺伝子 ID       | 4018.0                                |
| SwissProt ID | P08519                                |
| 免疫原          | 大腸菌で発現させた LPA (1823 - 2013) の精製組換え断片。 |

**背景**

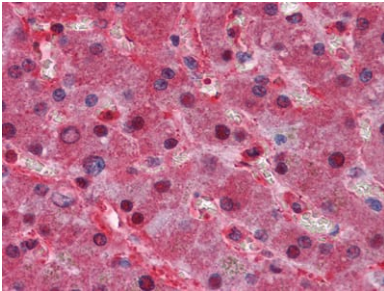
LPA: リポタンパク質、Lp(a)。アポ(a)はリポタンパク質(a) (lp(a)) の主成分です。セリンプロテアーゼ活性を有し、自己タンパク質分解能を有します。組織型プラスミノゲンアクチベーター 1 を阻害します。Lp(a)はメガリン/gp330 のリガンドとなる可能性があります。

ります。アポ(a)はタンパク質分解によって切断され、いわゆるミニ lp(a)を形成することが知られています。アポ(a)の断片は動脈硬化病変に蓄積し、血栓形成を促進する可能性があります。O-グリコシル化はタンパク質分解による断片化の範囲を制限する可能性があります。

## 研究分野

-

## 画像データ



LPA マウス mAb を用いたパラフィン包埋ヒト肝組織の免疫組織化学分析